



馬鹿にも誠意は
あるでございます。

2本立て!

シャーリーの好色人生と転巻人生

好色監督:佐藤 央 | 転巻監督:富永昌敬

福津屋兼蔵 杉山彦々

夏生さち 宮田亜紀 小田 豊 中川安奈

平沢里菜子 笠木 泉 瀬戸夏実 守屋文雄 中田昌宏

企画:小川直人、大内立子 | プロデューサー:直井卓俊、勝村俊之、富永昌敬 | 製作:STJP共済組合、シネマパンチ | 配給・宣伝:ロサ映画社 SPOTTED PRODUCTIONS | 2008 | 日本 | DV | カラー | 16:9 | ステレオ | 110分

さすらい男“シャーリー”と6人の美女たち。 愛憎と陰謀が交差する2つのアナザー・ストーリー。

新鋭・佐藤央が監督した『シャーリーの好色人生』と、太宰治原作の『バンドラの匣』など話題作が次々と控える富永昌敬監督作『シャーリーの転落人生』。欲望に忠実で、周りの混乱をよそに飄々と生きる愛すべきキャラクター・シャーリーとくされ縁の親友・中内、そして彼らが訪れる場所で巻き起こる美女たちとの愛憎と陰謀のドラマが、それぞれを補完し合う2つのアナザー・ストーリーとして描かれる。奇妙な方言に導かれ、紡がれてゆく2つの人生。“平成の車寅次郎”ことシャーリーの新たな全国行脚がここに始まる…!

STORY

生まれ故郷の島を出たシャーリー(福津屋兼蔵)と中内(杉山彦々)。素寒貧のふたりは中内の姉・珠枝(中川安奈)が嫁いだ河津家を訪れる。無事ふたりは居候を許されるが、河津家には年齢も性格も異なる3人の女性がいた。かつて島でシャーリーと関係のあった珠枝、関西から流れてきた水商売をする江梨子(宮田亜紀)、高校生になるひとり娘の寛子(夏生さち)。そんな3人から誘惑されるシャーリーが選んだ運命は……。(['シャーリーの好色人生'])

喫茶店でシャーリーの嫁・波子(笠木泉)が男を相手にシャーリーの行方を知らないかと相談している。島で民宿を経営していたシャーリーは、東京からやってきた女性客岡島リエ(平沢里菜子)を追って行方がわからなくなってしまったというのだ。ヨシエはリエにも島での行動に不信点が見られたのだといい、そこに自分の父親の選挙に関わる陰謀があったのだと力説するのだが……。(['シャーリーの転落人生'])

『シャーリーの好色人生』

福津屋兼蔵 夏生さち 宮田亜紀 杉山彦々 小田豊 中川安奈
監督:佐藤央 | 脚本:佐藤央、富永昌敬 | 撮影・照明:芦澤明子(JSC) | 美術:田中浩二 | 録音:新垣一平
衣装:小磯和代 | 音楽:近藤清明 | 編集:佐藤央、樹田亮 | 制作:渡辺裕子 | 企画:大内立子 | 製作:シネマ・ロサ
プロデューサー:富永昌敬、直井卓俊 | 制作協力:ユーロスペース、ほんずフィルム

『シャーリーの転落人生』

福津屋兼蔵 平沢里菜子 笠木泉 杉山彦々 瀬戸夏実 守屋文雄 戸田宏宏
監督・脚本・編集:富永昌敬 | 撮影・照明:月永雄太、三村和弘 | 録音:山本タカアキ、鈴木龍一郎
MA:山本タカアキ | 音楽:近藤清明、石川司 | 衣装:小磯和代 | 制作:荒木孝誠 | 制作協力:ユーロスペース
企画:小川直人 | 製作:STJP共済組合 | プロデューサー:直井卓俊、勝村俊之
2009 | 日本映画 | DV | カラー | ビスタサイズ | ステレオ | 110分



一瞬も目を離せない『好色人生』に対して、『転落人生』は観客を油断させる。自主映画的な作法の最先端に位置するこの作品では、観客は「目を離す」ことを許されているかに見える。しかし、油断大敵。それは不意打ちの準備でしかない。この不意打ちは上下半身ともに強襲するので、観客には相応の緊張でいて映画に対することをお勧めする。

濱口 竜介(映画監督『PASSION』)

種類を問わず、凡そ素晴らしい作品というのは、触れた者に「何かまったく別のことがしたくなる」或いは「何かをもう一度やり直したくなってしまふ」そんな不安ないし衝動を与えるという説があるのですが、わたしも漏れなくそうになりました。観た日の夕暮れ、震えながら、生まれて初めてクッキーなどを焼いたのです。

川上 未映子(ミュージシャン / 小説家)

09.4.11 [土] ~ 4.24 [金] 連日20:30~
池袋シネマ・ロサにて2本立てレイトショー!



前売券 ¥1500(税込) 絶賛発売中!
当日料金 一般: ¥1800 / 学生: ¥1500 / シニア: ¥1000
池袋シネマ・ロサ 東京都豊島区西池袋1-37-12
TEL: 03-3986-3713
URL: <http://www.cinemarosa.net/>

「最後のシーンはとてもずるかったです。
きゅんとしました。」

やくしまる えつこ(ミュージシャン)

シャーリーの好色人生と転落人生 公式サイト www.koshoku-tenraku.com